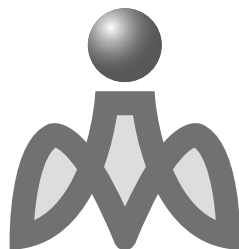


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和6年10月～12月実績〕
〔令和7年1月～3月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第3四半期 令和6年10月～12月期 「調査時点：令和6年11月15日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービスマ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

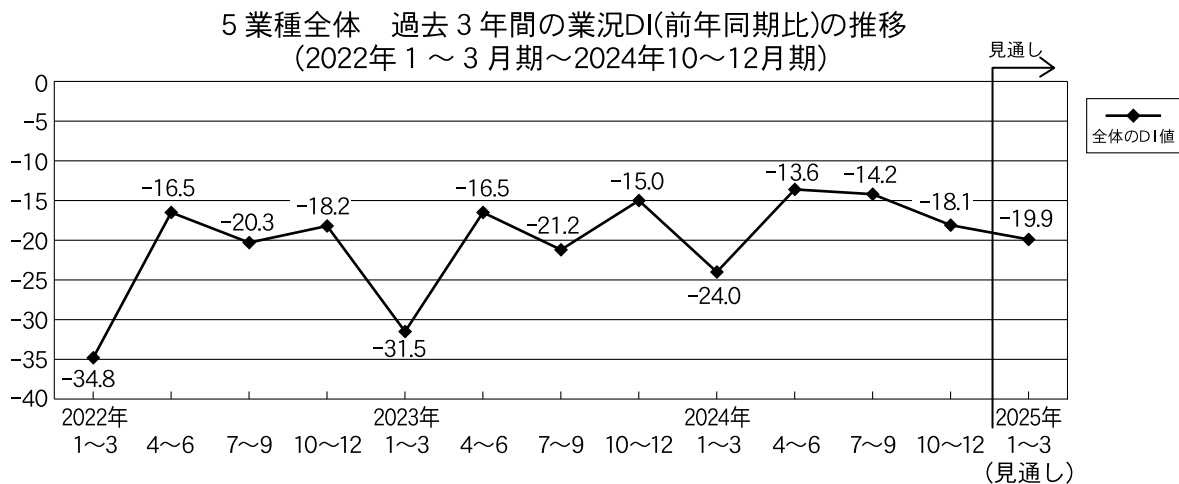
本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

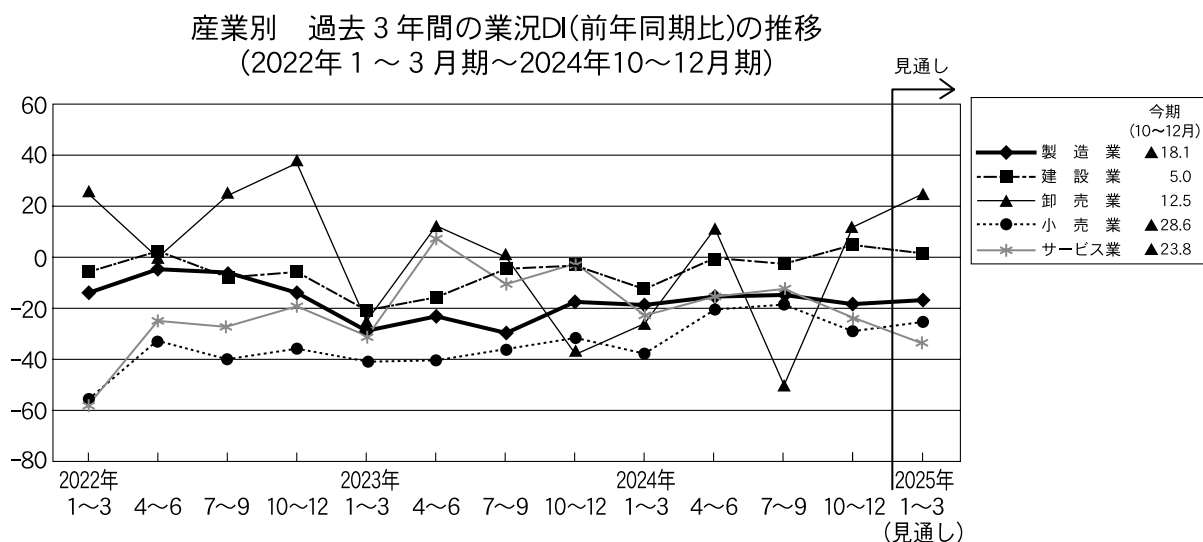
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲18.1と前期比で3.9ポイント悪化している。来期は▲19.9へさらに悪化の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業は▲18.1で前期比▲3.5ポイント、建設業が5.0で前期比+7.5ポイント、卸売業が12.5で前期比+62.5ポイントの大幅改善、小売業が▲28.6で前期比▲10.1、サービス業が▲23.8で前期比▲11.6ポイントであった。

来期は、製造業・卸売業・小売業が改善、建設業・サービス業が悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの111企業を含めた276サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

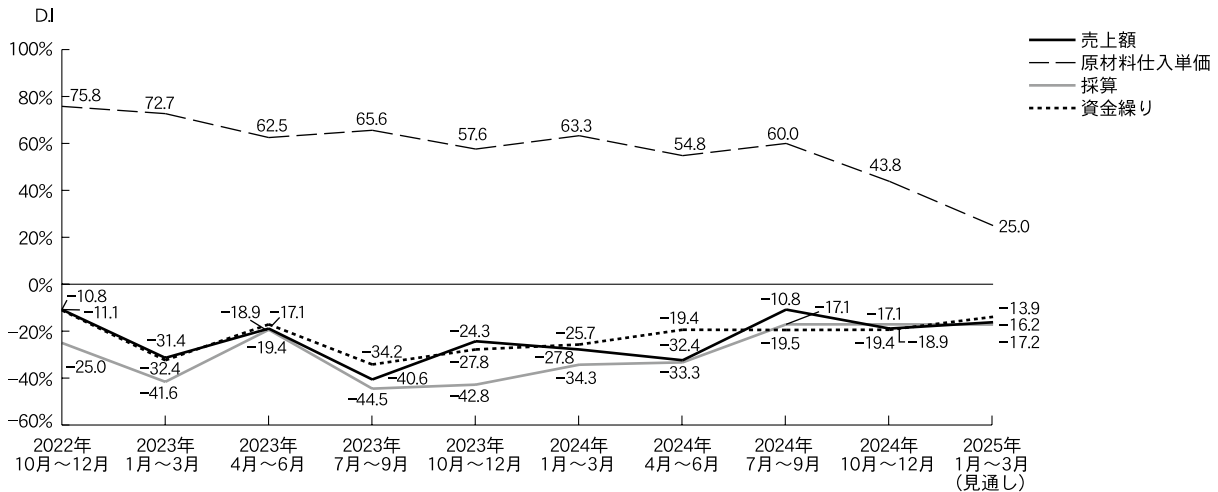
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲18.9と前期比で8.1ポイント悪化したが、来期は▲16.2へ改善の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期43.8と前期比で16.2ポイント下降（改善）し、来期も25.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲17.1で前期と変化無し、来期も▲17.2ではほぼ変化なしの見通しである。資金繰りD Iは、今期▲19.4と前期比+0.1ポイント、来期は▲13.9へ改善の見通しである。

今期は、売上額D Iが悪化したものの、採算D Iは前期同様、原材料仕入単価D I、資金繰りD Iは改善している。来期は、採算D Iが悪化見通しであるが、他のD Iは全て改善の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

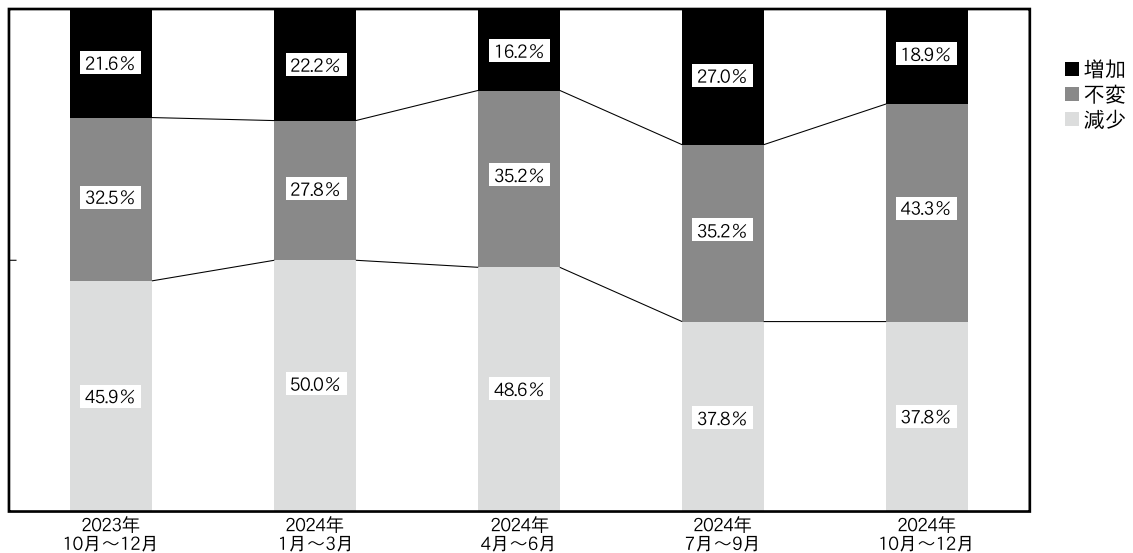
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、18.9%（7社）に減少（前期比▲3社）している。

「不変」は43.3%（16社）に増加（前期比+3社）し、

「減少」は37.8%（14社）で変化なしである。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数35社））

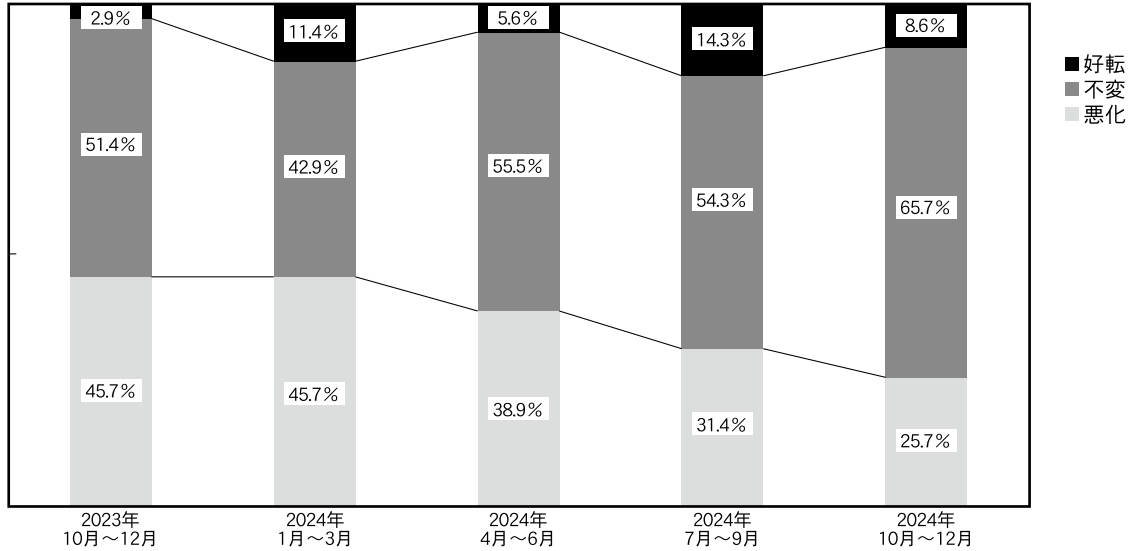
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.6%（3社）に減少（前期比▲2社）している。

「不変」は65.7%（23社）に増加（前期比+4社）、

「悪化」は25.7%（9社）に減少（前期比▲2社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

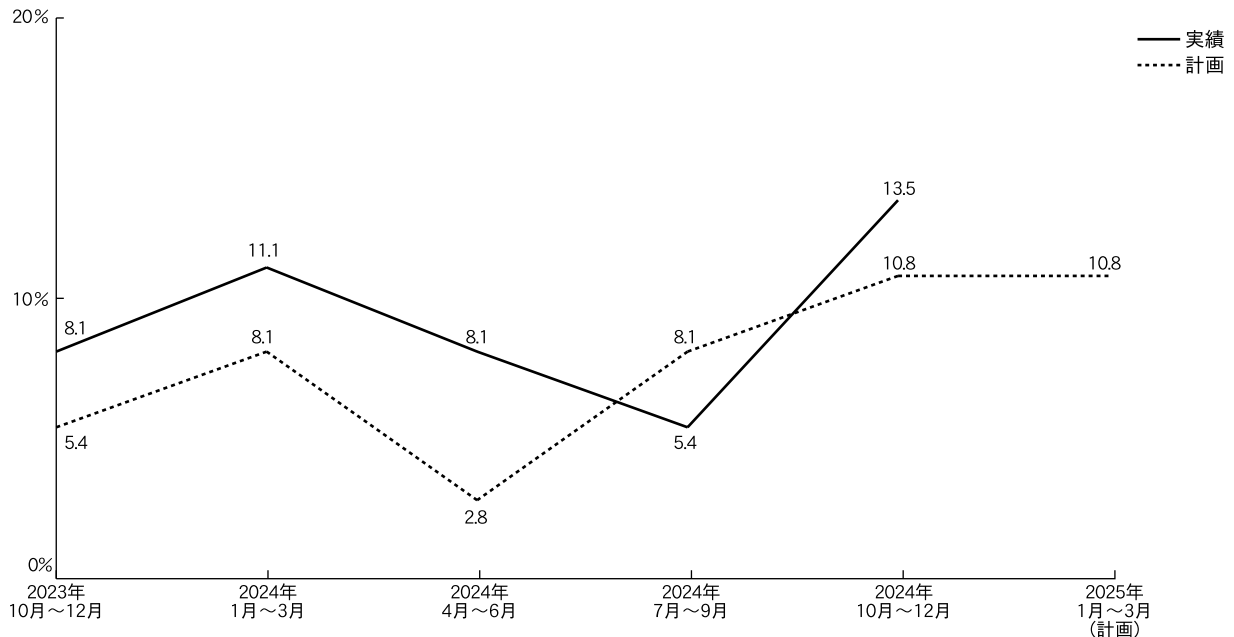


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（5社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」「OA機器」が2件ずつ、「車両・運搬具」が1件であった。

来期の計画については、10.8%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が3件、「工場建物」「車両・運搬具」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数35社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の31.4%（11社）であり、2番目は「需要の停滞」の14.3%（5社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらは、1番目に多かったのが「需要の停滞」の37.1%（13社）であった。2番目に多かったのは「原材料価格の上昇」「原材料費・人件費以外の経費の増加」の31.4%（11社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	3	8.1
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	5	13.6
合計	37	100.0

従業員規模別

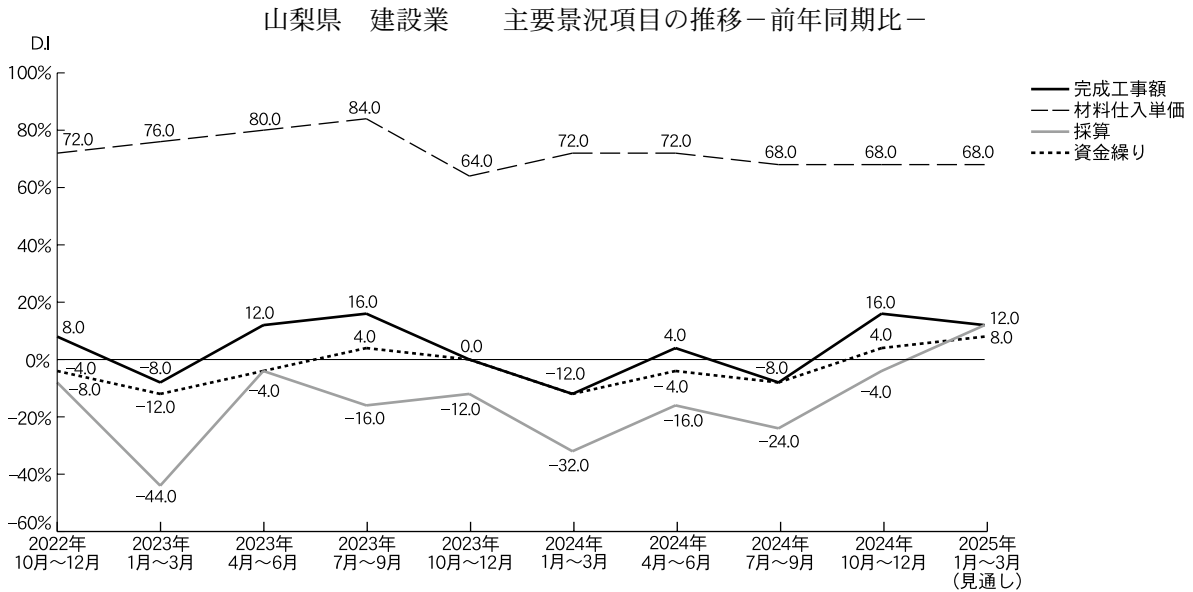
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	19	51.4	16	43.3
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期16.0と前期比で24.0ポイント改善したが、来期は12.0へ悪化の見通し。材料仕入単価D Iは、今期68.0で前期と変化なし、来期も変化なし68.0の見通しである。採算D Iは、今期▲4.0と前期比で20.0ポイントの改善を示し、さらに来期は12.0へと2020年1-3月期以来のプラスに転じる見通しである。資金繰りD Iも、今期4.0と前期比で12.0ポイント改善し、来期も8.0へ改善の見通しである。

今期は、材料仕入単価D Iが変化なしであったが、他のD Iは全て改善。来期は完成工事額D Iが悪化見通し、材料仕入単価D Iが変化なし、採算D I、資金繰りD Iが改善の見通しである。



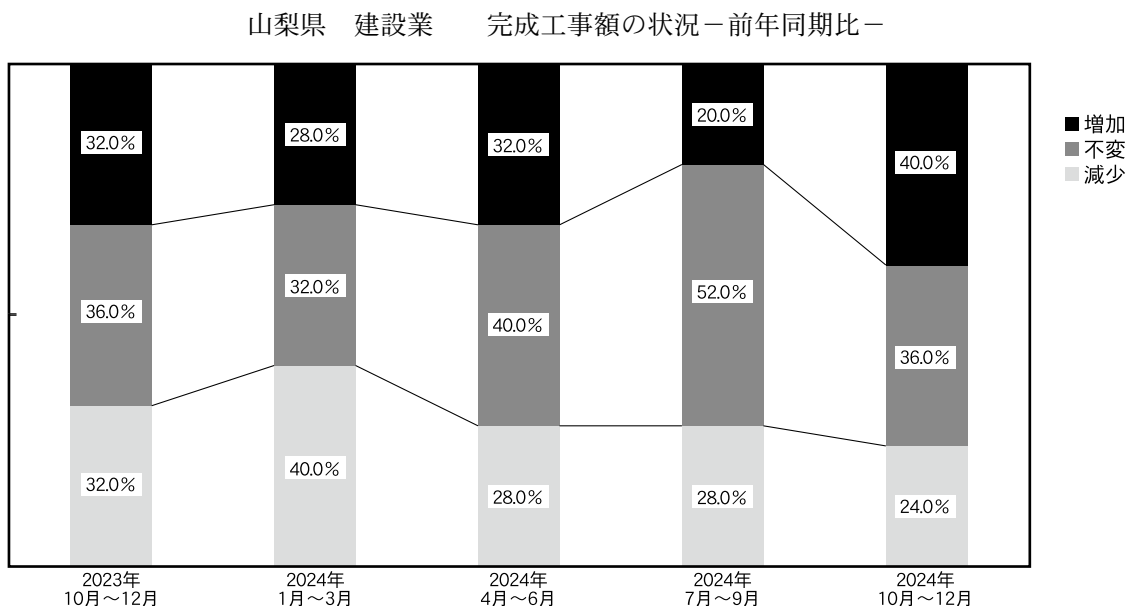
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額 (完成工事額D Iの内容 (回答企業数25社))

「増加」と答えた企業の割合は、40.0% (10社)に増加 (前期比+5社) している。

「不変」は36.0% (9社)に減少 (前期比▲4社)、

「減少」は24.0% (6社)に減少 (前期比▲1社) している。

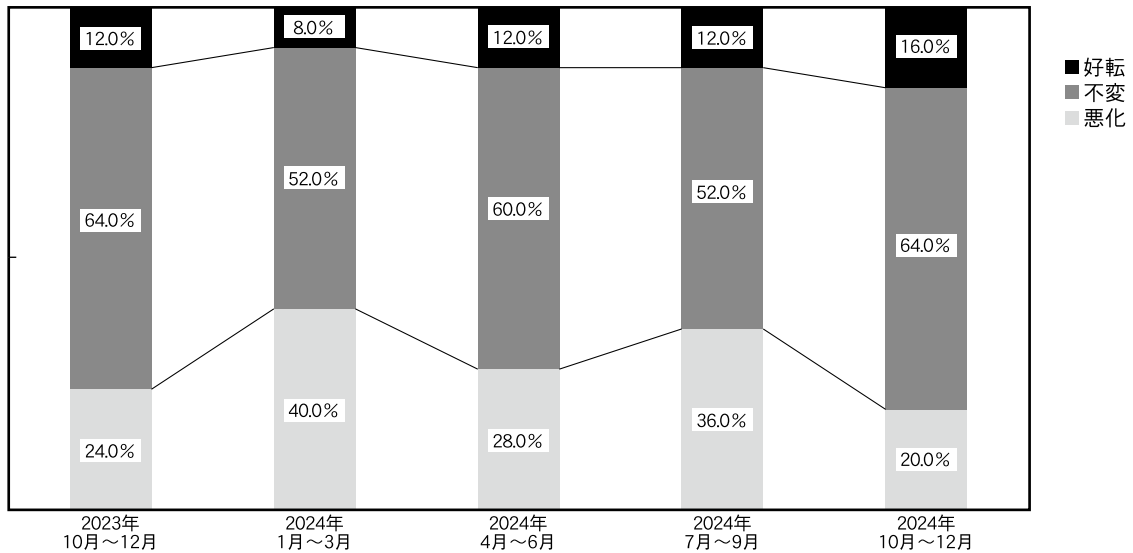


② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、16.0%（4社）に増加（前期比+1社）している。
 「不変」は64.0%（16社）に増加（前期比+3社）、
 「悪化」は20.0%（5社）に減少（前期比▲4社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

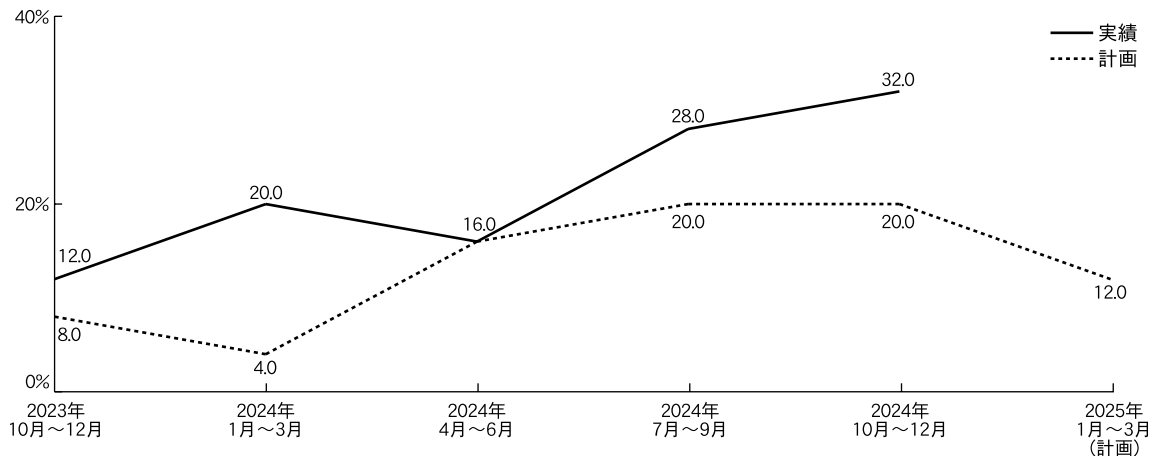


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は32.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が5件、「OA機器」が2件、「土地」「建物」「建設機械」「福利厚生施設」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、12.0%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「土地」が3件、「車両・運搬具」「付帯施設」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数25社）

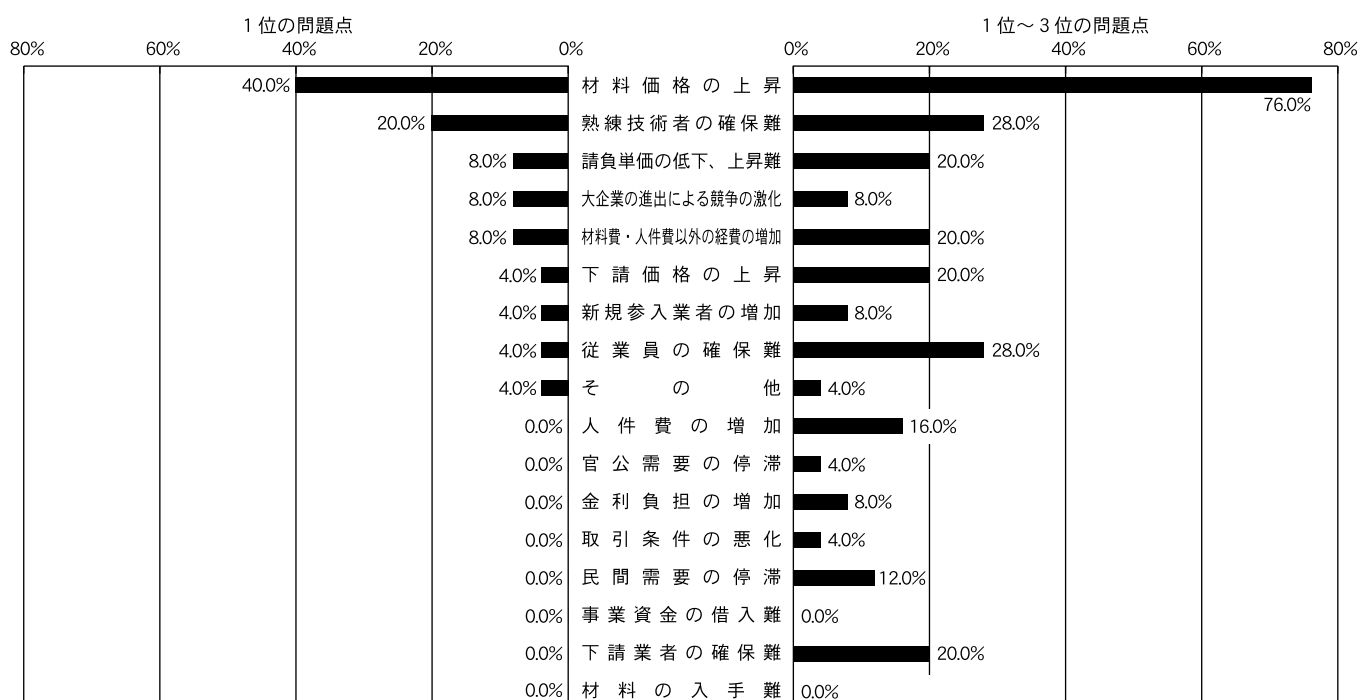
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

過去調査に引き続き「材料価格の上昇」が最も多く挙げられており40.0%（10社）であった。2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」の20.0%（5社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の76.0%（19社）であった。2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」の28.0%（7社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合計	25	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	6	24.0	7	28.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100.0	25	100.0

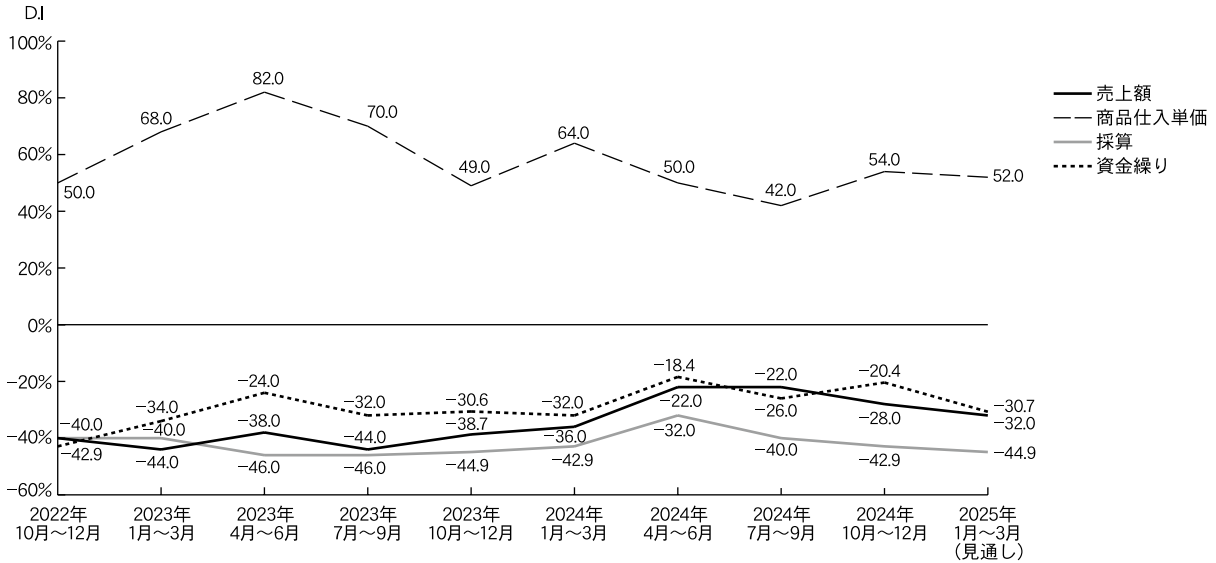
4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲28.0と前期比で6.0ポイント悪化し、来期も▲32.0へ悪化の見通しである。商品仕入単価D Iは、今期54.0と前期比で12.0ポイント上昇（悪化）し、来期は52.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲42.9と前期比で2.9ポイント悪化し、来期も▲44.9へ悪化の見通し。資金繰りD Iは、今期▲20.4と前期比で5.6ポイント改善し、来期は▲30.7へ悪化の見通しである。

今期は売上額D I、商品仕入単価D I、採算D Iが悪化、資金繰りD Iのみが改善した。来期は売上額D I、採算D I、資金繰りD Iが悪化、商品仕入単価D Iのみが改善の見通しである。

山梨県 小売業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

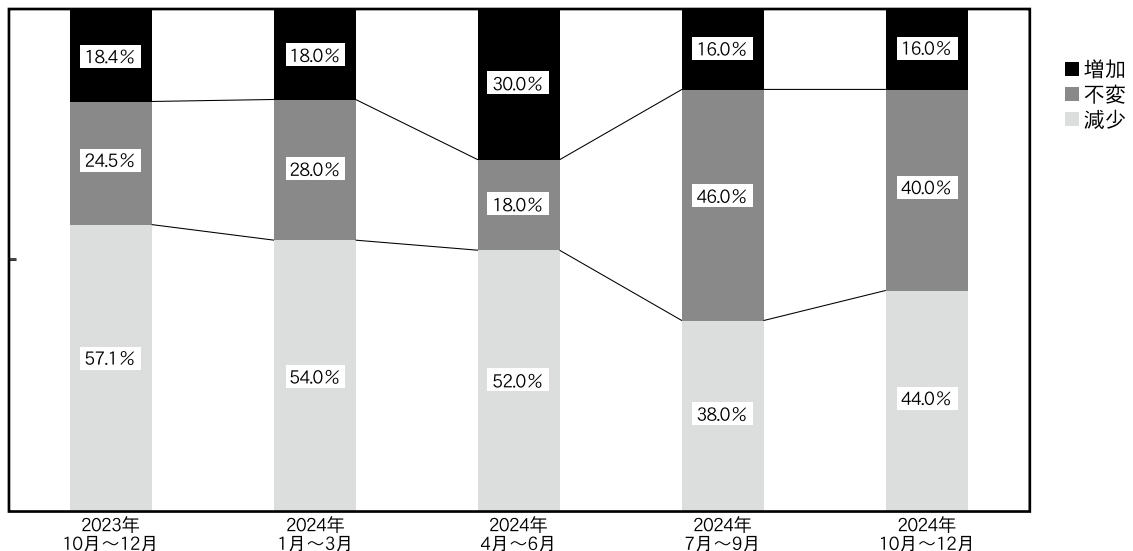
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、16.0%（8社）で前回と変化なし。

「不変」は40.0%（20社）に減少（前期比▲3社）、

「減少」は44.0%（22社）に増加（前期比+3社）している。

山梨県 小売業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数49社（前回50社））

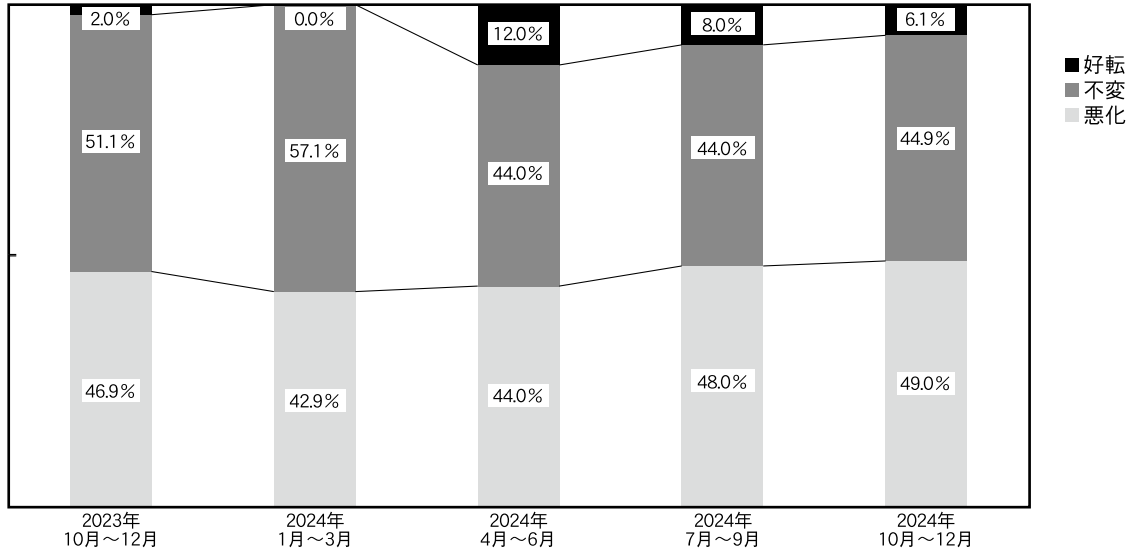
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、6.1%（3社）に減少（前期比▲1社）している。

「不変」は44.9%（22社）に増加（企業数は変化なし）、

「悪化」は49.0%（24社）に増加（企業数は変化なし）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

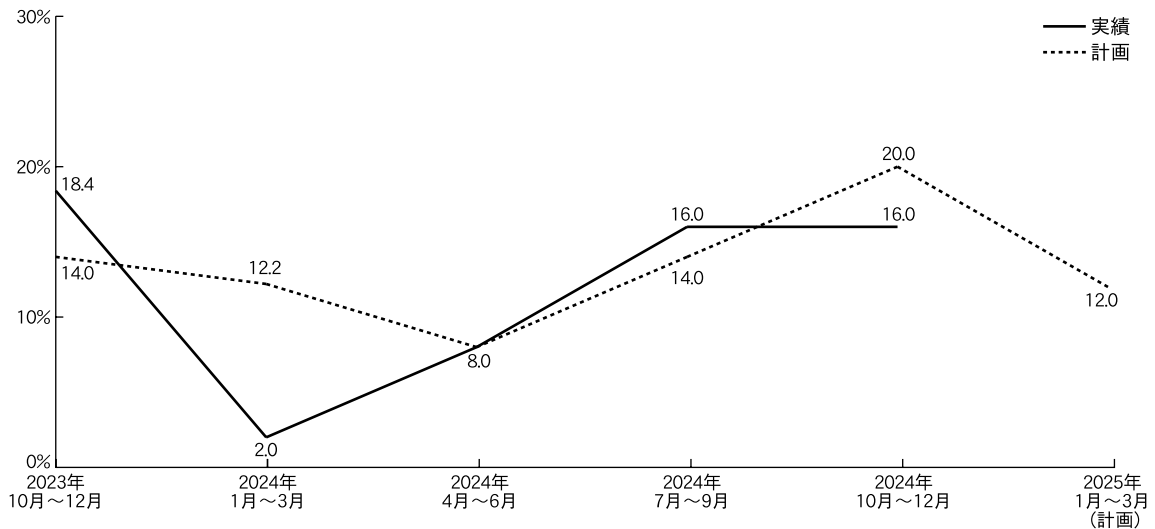


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は16.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「販売設備」「付帯施設」「その他」が2件ずつ、「店舗」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、12.0%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「販売設備」「車両・運搬具」「OA機器」が2件ずつ、「店舗」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数50社）

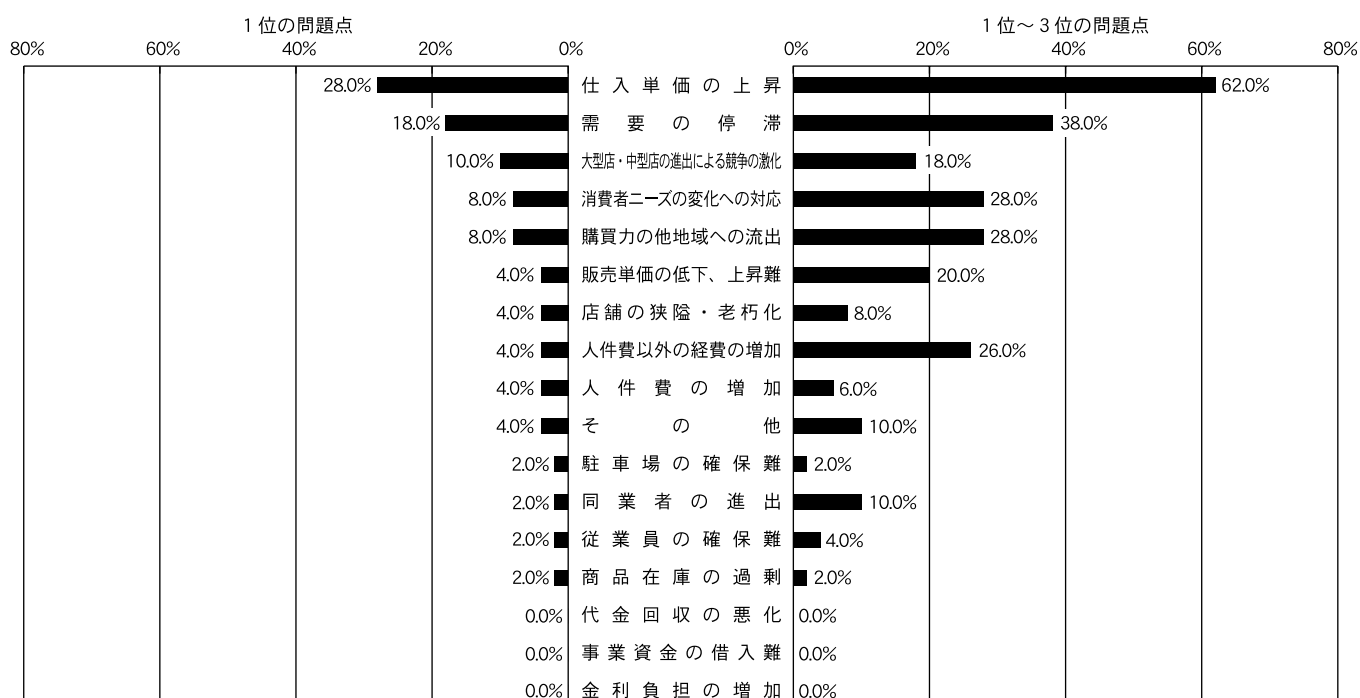
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の28.0%（14社）であり、2番目は「需要の停滞」の18.0%（9社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の62.0%（31社）であり、2番目も「需要の停滞」の38.0%（19社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食物品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合計	50	100.0

従業員規模別

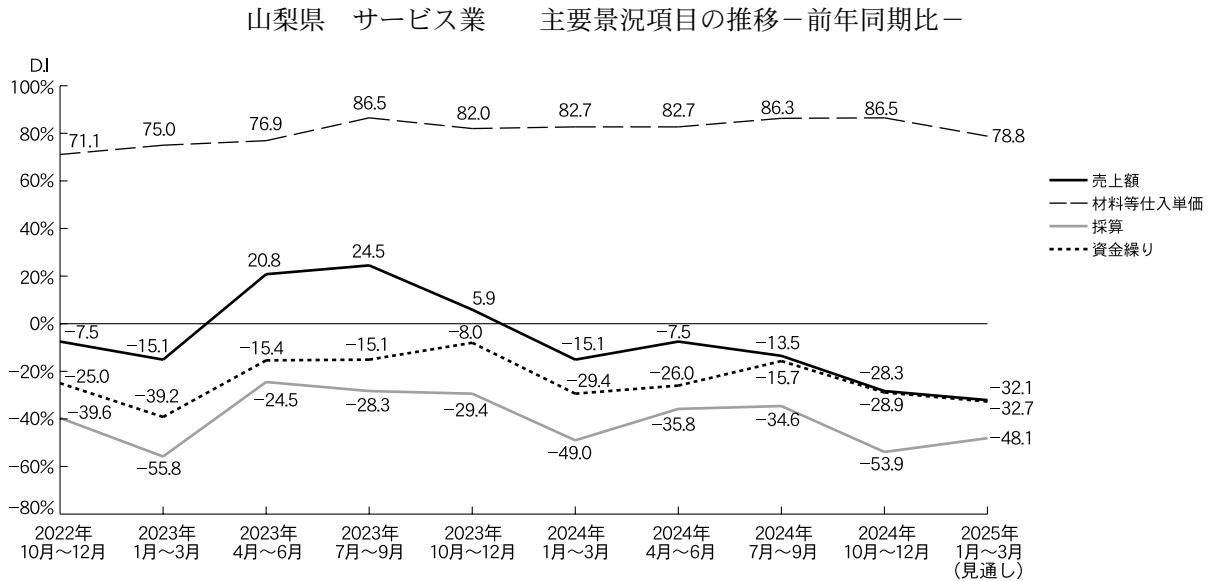
従業員数	雇用形態		従業員数	
	常雇い	臨時等含む	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	92.0	38	76.0
3人～5人以下	4	8.0	11	22.0
6人～10人以下	0	0.0	1	2.0
合計	50	100.0	50	100.0

5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲28.3と前期比で14.8ポイント悪化し、来期も▲32.1へ悪化の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期86.5と前期比で0.2ポイント僅かに上昇（悪化）したが、来期は78.8へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲53.9と前期比で19.3ポイント悪化したが、来期は▲48.1へ改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲28.9と前期比で13.2ポイント悪化し、来期も▲32.7へ悪化の見通しである。

今期は全D Iが悪化した。来期は売上額D I、資金繰りD Iが悪化、材料等仕入単価D I、採算D Iが改善の見通しである。



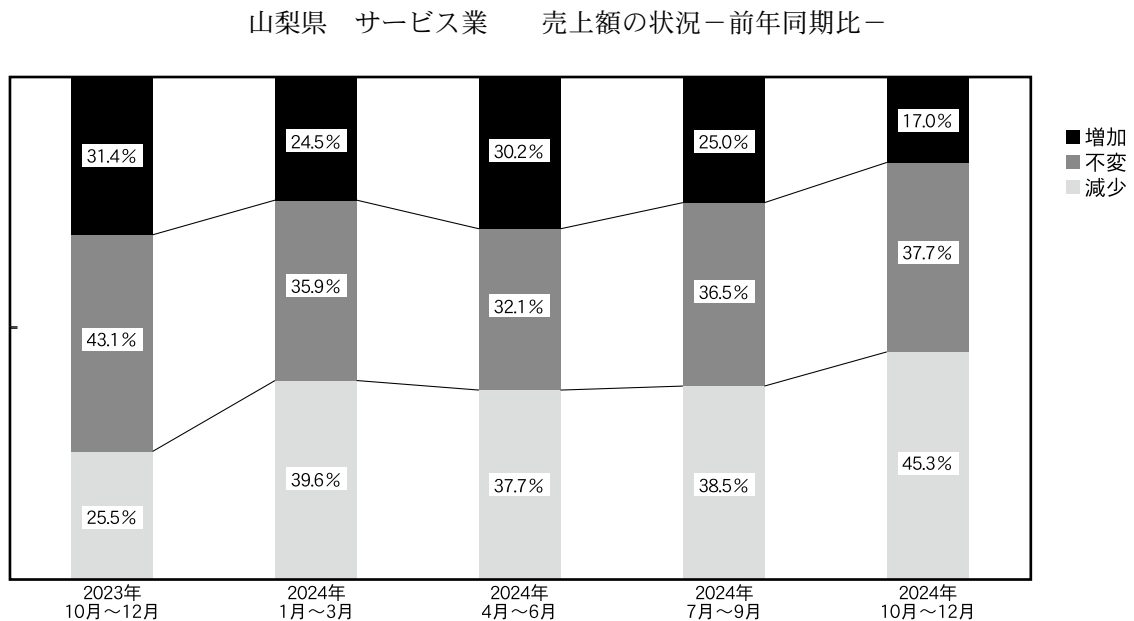
(2) 主な項目でみる業況

① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社（前回52社）））

「増加」と答えた企業の割合は、17.0%（9社）と減少（前期比▲4社）している。

「不変」は37.7%（20社）と増加（前期比+1社）、

「減少」は45.3%（24社）と増加（前期比+4社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数52社））

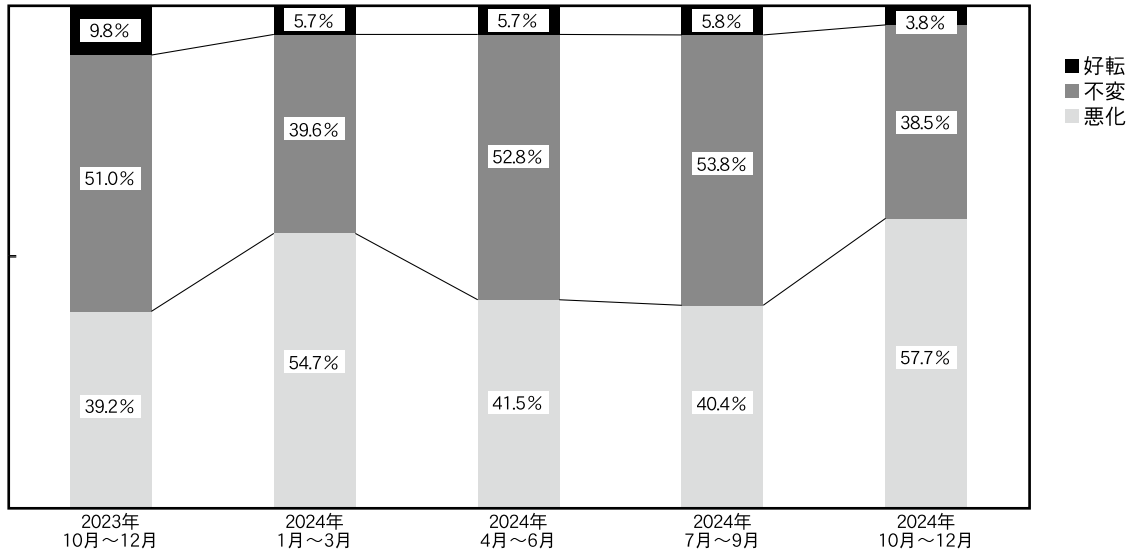
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.8%（2社）に減少（前期比▲1社）している。

「不変」は38.5%（20社）に減少（前期比▲8社）、

「悪化」は57.7%（30社）に増加（前期比+9社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

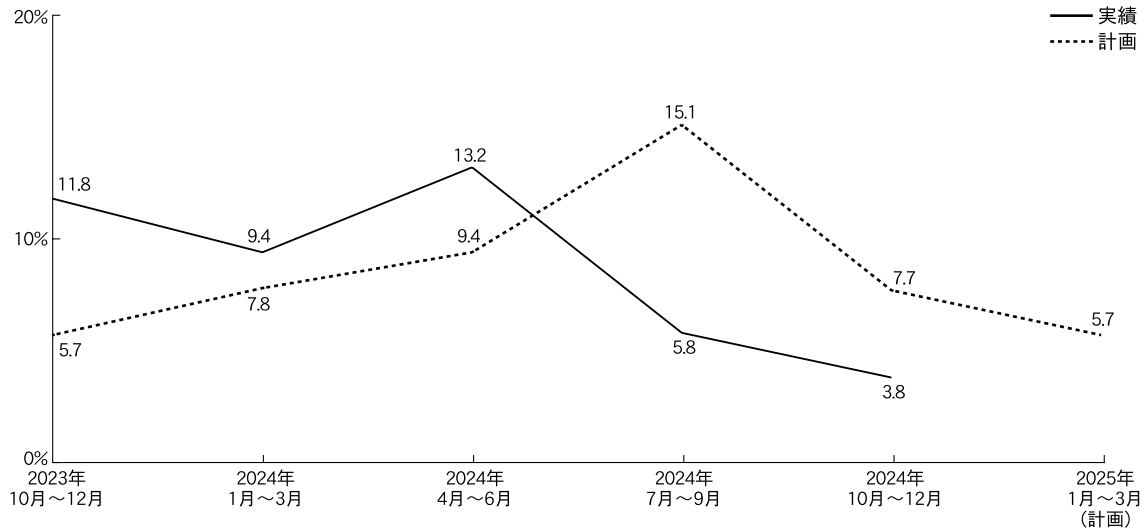


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は3.8%（2社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」が2件であった。

来期の計画については、5.7%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建物」「サービス」「付帯施設」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数49社）

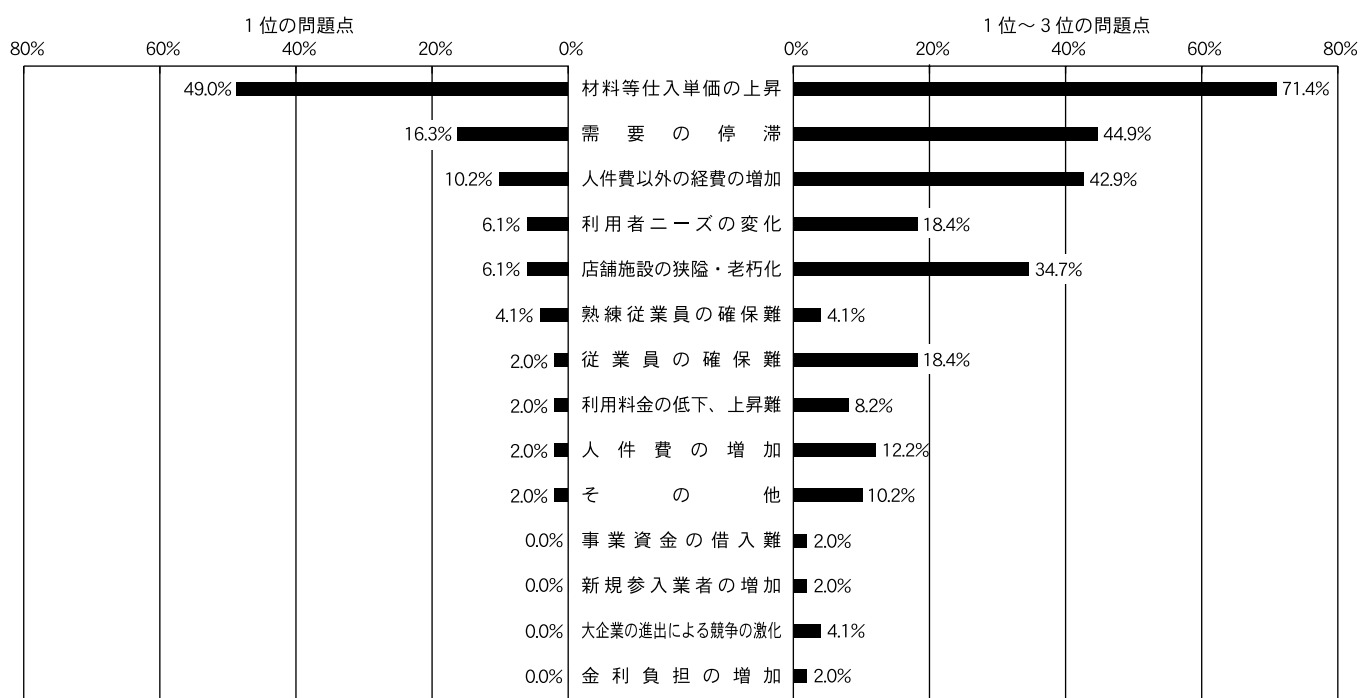
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の49.0%（24社）であり、2番目は「需要の停滞」の16.3%（8社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」で71.4%（35社）、2番目は「需要の停滞」で44.9%（22社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.8
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	38	71.7
3人～5人以下	8	15.1	11	20.7
6人～10人以下	0	0.0	3	5.7
11人～20人以下	0	0.0	1	1.9
合計	53	100.0	53	100.0